

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サポートセンターわくわく		公表日		令和7年3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・個室がいくつかあるのでわけて支援できる ・体を動かす活動の時は少し狭く感じるが個室等も活用している ・児発、放デイでわけている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	2		・マンツーマンでの対応が必要になったり、身体介助が必要な児童につきっきりの際は手薄になる時があるので、職員間で連携をとって安全に支援を行う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			・玄関はバリアフリーになっているが、車椅子が通るスペースが狭いので、玄関に靴などが置さっぱなしにならないよう、徹底する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	・定期的に大掃除している	壁の汚れやトイレの手すりからの錆があるので、修繕ができるよう検討する。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・個室を利用して、宿題や個別学習等、児童が静かな空間で過ごしたい時ずごとしている ・個室で過ごしたい児童が複数名いた場合、お互いで相談して個室を使用できるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	3	・振り返りや、活動の目的等職員と共有している	・振り返りができない時があるので、紙面に書いて、共有できるようにする。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	・評価表に限らず、保護者から意見等があった際は、職員間で話し合い、改善に向けて取り組んでいる。	・保護者からの意見で、実行できていないところがあるので、実行できるように検討する。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		・職員面談を行い、日頃話せないことを話せる機会を作って、業務改善につなげていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		・第三者による外部評価を取り入れないので、今後外部評価を取り入れる検討を行う。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・法人研修を実施している ・法人研修が年に4回程ある		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	3		・作成した支援プログラムを職員で共有し、利用者等へ公表を行う。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	・保護者から児童の家庭や学校での様子を確認し、事業所での様子を観察し、計画につなげている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	・児童によく関わる職員と、児童の状況を共有し、計画につなげている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	4			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	・放課後等デイサービスのガイドラインを全職員で共有し、児童の支援に必要な内容を設定している。	・放課後等デイサービスのガイドラインを、繰り返し読んで、支援内容がブレないようにする。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	・プログラム立案担当が、月のプログラムを立てて、その日の利用状況等に合わせて、その日のリーダーが内容を調整したり、職員同士が話しあっている	・プログラム立案担当で決めてしまっている状況があるので、他職員の意見を取り入れていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	2	・プログラムが固定化しないように、週でプログラムを設定したり、児童の意見を取り入れながら、プログラムを設定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・毎日のミーティングで、利用児の担当や支援内容、活動プログラムの進行方向など確認を行なっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3		・支援終了時に振り返りができない時もあるが、気になる点、疑問点は振り返りをする ・必ずはできていないよう感じる、また全員いない時の共有が難しい時があるので、紙面に記入して共有するなど工夫していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	・自分が何をしたいのかどう思っているのかを児童に聴いて、自分で決めることができるように導いている。また、利用者さん同士で相談できるように仲介したりしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	・基本、児発管が参加するが、必要に応じて、対象児童と関わりの多い職員を同席させたり、参加させている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	・地域の学校とはアプリ等で連携が取りやすくなった ・学校の年間計画を参考にしている	・学校との連携、共有がうまくいっていない時があるよう感じるので、下校時に担当教諭とコミュニケーションが取れるようにする。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・移行会議等で情報を共有している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	・移行会議等で情報を共有している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		・必要に応じて地域の児童発達支援センターと連携が取れるようにする。 ・また、児童発達支援センターが企画する研修等に参加していきたい。

携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	・おでかけ等 ・児童館や公園等で関わる機会がある ・町のイベントに参加して交流を図っている	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		6		・西原町の子ども部会に参加している。自立支援協議会への参加も検討する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	・送迎時に、児童の様子やその日の出来事を伝えている。児童の状況など共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・事業所内で保護者向けの研修の開催はできていないが、外部の研修や講演会などの情報提供は行なっている。	・必要に応じて、ペアレント・トレーニングなどの勉強会の情報を提供できるようにする。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	・契約時に重要事項説明書で利用者負担等について説明を行っている。運営規定の掲示や支援プログラムの説明等も行っていく。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2		・保護者がいつでも相談しやすいように、相談窓口の案内を随時行なっていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		・地域の父母会主催のクリスマス会に児童と参加することはあるが、保護者の交流を目的とした参加にはなっていない。保護者同士、兄弟児が交流できる機会の検討をしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	・こどもや保護者から苦情が出た際は、職員間で共有し解決に向けて話し合いを行い、解決策をこどもや保護者に報告ししく体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2	・定期的な通信は発行できていないが、時々、Instagramを活用して様子を発信している。	・定期的な通信が発行できる体制を整えていきたい。 ・事業所のInstagramを保護者に周知するようにする。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・利用契約時に、1人1人に細かくアンケートをとり、取り扱いに十分注意している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1	・職員間で情報共有し、状況に応じて計画相談員と連携しながら、意志の疎通や情報伝達の方法を配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		・コロナ前は、地域の民生委員の皆さんをお招きして交流する機会があったが、それ以降そのような機会を持つことができていない。今後、地域の皆さんと交流する機会を作っていきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	4		・マニュアルは設けているが訓練ができていないので、今後訓練を行っていく。また、保護者への周知ができていないので、周知していく。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・定期的に行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1		

非常時等の対応	49	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	4		・作成された安全計画を全職員で共有し、研修・訓練を実施していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3		・こどもの安全確保に関して、家族と連携が図られるよう、作成した安全計画に基づく内容を、職員、保護者へ周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	・報告し共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	・年に2回虐待防止に関する研修を行い、不適切な対応が行われていないか確認を行なっている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	やむを得ず身体拘束を行う事案が出てきた際は、組織で協議し決定し、こどもや保護者に事前に説明し同意を得た上で実施していく。	